

EU Indicators

欧州経済指標コメント：10月英国消費者物価

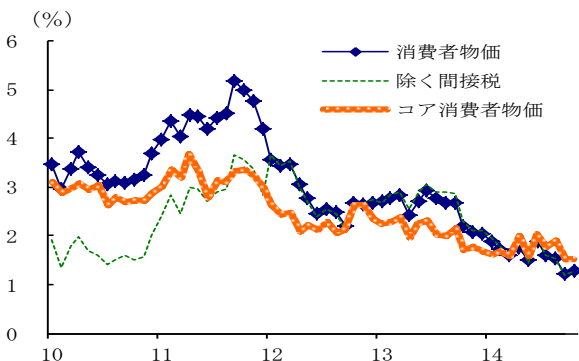
発表日：2014年11月19日(水)

～FRBさん、どうぞお先に～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

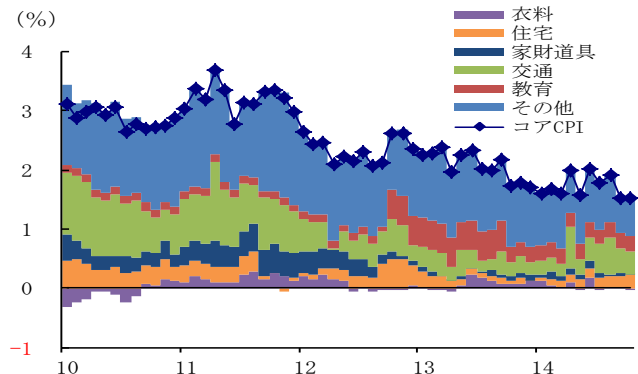
- 18日に発表された10月の英国の消費者物価は前年比+1.3%と、5年振りの低い上昇率を記録した前月(同+1.2%)から小幅加速したものの、BOEの物価安定目標(2%)を下回る低インフレが持続。内訳は、アルコール飲料(前月：同+0.6%→今月：同+0.8%)、たばこ(同+8.1%→同+8.5%)が前月から小幅加速、コア物価(同+1.5%→同+1.5%)、食料品(同▲1.4%→同▲1.4%)が前月並みとなった一方、エネルギー価格(同▲0.3%→同+0.3%)が3ヶ月振りに上昇に転じたことで、全体の計数を押し上げた。エネルギーの内訳では、住宅用燃料(同+4.5%→同+4.5%)が前月並みとなったものの、前年同月の“裏”もあり自動車燃料(同▲6.0%→同▲4.8%)の下落率が縮小した。
- BOEは11月の物価レポートで、10月の消費者物価を同+1.4%と予想していた。今回の計数は前月から小幅反発したが、BOEの想定に届かなかった。目先は“裏”要因の剥落と原油安を背景に、エネルギー価格の下押し圧力が強まる可能性が高く、物価上昇率は1%未満に鈍化する見通し。ユーロ圏向け輸出の低迷や住宅市況の過熱感後退に加えて、労働需給の逼迫度合いがピークアウトしており、インフレ圧力が高まる兆しは限定的。BOEの高官からも慎重な金融政策運営を志向する発言が相次いでおり、利上げ開始時期は来年半以降に後ずれすると予想。

■英国：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・アルコール・エネルギー除く
 出所：英統計局

■英国：コア消費者物価の要因分解（前年比）



出所：英統計局

■英国の消費者物価（%）

		2013				2014									
		4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
消費者物価	(前期比)	0.6	0.1	0.7	0.0	0.5	0.2	0.4	-0.1	0.2	-0.3	0.4	0.0	0.1	
	(前年比)	2.1	1.7	1.7	1.5	1.7	1.6	1.8	1.5	1.9	1.6	1.5	1.2	1.3	
コア消費者物価	(前期比)	1.7	1.6	1.9	1.7	1.7	1.6	2.0	1.6	2.0	1.8	1.9	1.5	1.5	
	(前年比)	2.8	1.8	-0.0	-0.9	1.8	1.7	0.5	-0.6	0.0	-0.4	-1.1	-1.4	-1.4	
食料品	(前期比)	3.2	0.9	0.6	-0.5	0.0	1.8	-0.8	1.1	1.5	-2.3	0.2	0.6	0.8	
	(前年比)	7.1	7.3	7.1	8.1	7.3	7.3	6.7	7.2	7.5	8.1	8.0	8.1	8.5	
アルコール	(前期比)	2.4	1.0	1.1	0.3	0.6	-0.3	0.3	1.6	1.4	1.2	-0.1	-0.3	0.3	
	(前年比)	7.0	5.8	4.9	4.6	5.5	5.2	4.8	5.0	5.0	4.7	4.7	4.5	4.5	
エネルギー	(前期比)	-3.1	-4.6	-3.5	-4.9	-5.1	-6.6	-5.0	-2.5	-3.0	-2.9	-5.7	-6.0	-4.8	
	(前年比)														
住宅用燃料	(前期比)														
	(前年比)														
自動車燃料	(前期比)														
	(前年比)														

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。